

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能ステーション望紫波		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントや行事・外出を多く設けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や行き先が重複しないようにしている。</li> <li>SNSを活用して地域のイベントや公共施設のイベントをチェックし、予定に取り込むようにしている。</li> <li>身体的特徴にとらわれずに、全員が同じイベント等に参加できるよう、2回に分けて行くなど工夫した計画を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型イベント(行事)を行う</li> <li>SNSの情報を、更にこまめにチェックする</li> <li>長期休業中等に、日頃とは違う内容の活動を提供することを検討する。</li> </ul>
2	医ケア・重心の受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>全床バリアフリー。</li> <li>移動がスムーズに出来るよう整理整頓された広い空間にしている。</li> <li>多目的トイレを設置している。</li> <li>看護師が常駐している。</li> <li>医ケアを行うための専用の「静養室」を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手摺の設置</li> <li>身体的特徴に合わせた空間作り</li> <li>看護職員以外の職員の医ケアに対する知識向上(研修受講等)</li> <li>重心のケアの安全性や職員の身体的苦痛軽減のため、昇降型ベットの設置。</li> </ul>
3	少人数支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員とマンツーマンでの個別支援に取り組んでいる。</li> <li>職員と利用児、全員と一緒に参加する全員参加型支援を行っている。</li> <li>好みを考慮したおやつを提供。</li> </ul>	工夫していることや取り組んでいることを継続して行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	戸外活動スペースがない	既存の建物のため、開所当初からなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動上の安全や時間を考慮すると、現在の車両駐車場が活動場所として最適である。</li> <li>建物前を活動スペースにするために、車両の駐車位置を検討する。近隣に駐車出来る場所を確保する。</li> <li>既存駐車場を戸外活動スペースに設ける場合は、フェイスを設置する。</li> </ul>
2	立地的に主要道路に面し、戸外から室内の様子が見えやすく、防犯上問題である。	室内の構造がどのようになっているのか、利用児の年齢層や人数、職員の男女比と年齢等が戸外から見え、犯罪を誘発してしまう恐れがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールカーテンを下までの長さにする。玄関前にもカーテンやロールカーテンを付ける。</li> <li>防犯カメラを設置する。</li> </ul>
3	地域の放課後児童クラブや児童館との交流がない	学校の長期休業日にしか交流出来ないが、個々の身体的特徴や訪問先が長期休業中で交流する余裕がもてないことから、実施を見送ってきた。	利用児本人や保護者の意向を伺いながら、訪問先を検討し交流していく。